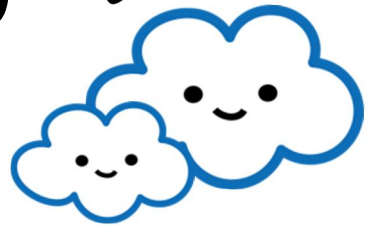


集まれ!



大阪の知と歴史を  
はぐくむチカラ!



## 採用案内

- ・司書職
- ・考古学技師職

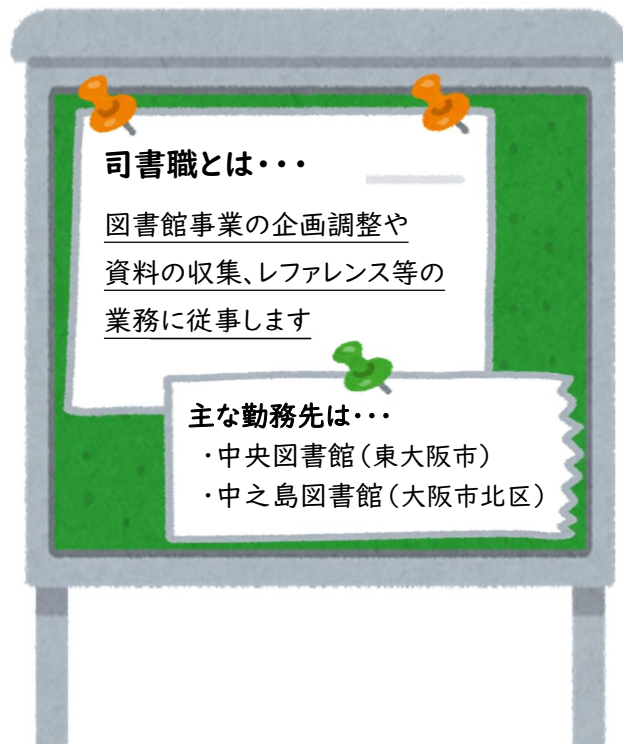


大阪府教育委員会



# 人類の英知を活用し、未来へとつなげる仕事

大阪の地は、遠く1万年以上も前から人類が住み、生活していたことが明らかになっています。その間に積み重ねられてきた英知を、今を生きる人に伝え、未来へとつなげていく「司書」「考古学技師」として、一緒に働きませんか？

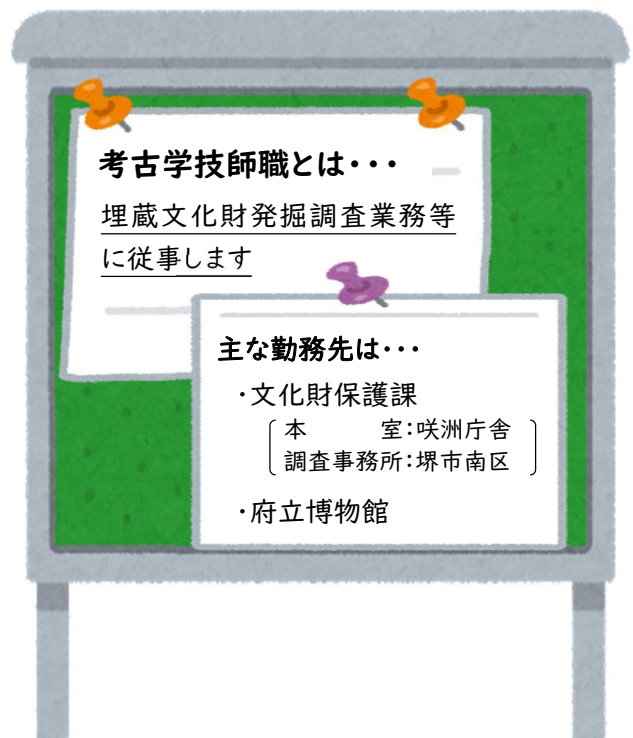


府立図書館  
の使命

**府域の図書館ネットワークの核**として、  
府民の皆さんの  
"知りたい"という気持ちにこたえ、  
"学びたい"という意欲を育み、  
より豊かで活気のある暮らしを送って  
いただけるよう、日々働いています。



府域に残る貴重な文化財や伝統文化の  
掘り起こしや保存・継承に取り組むとともに、  
現代の生活に活かすことで、  
大阪の魅力向上をめざしています。



実は！

## 教育庁内の他部署との**人事交流**もしています

司書職は主に府立図書館、考古学技師職は文化財保護課(調査事務所等も含む)で勤務しますが、教育庁内の他部署との人事交流も行い、人材育成にも取り組んでいます。

- (例) 司 書 職：市町村教育室地域教育振興課で、子ども読書活動推進業務等に従事  
考古学技師職：教育総務企画課で、教育庁内の広報・報道業務等に従事

一味違う！

# 大阪府で働く魅力を聞きました

司書職 編



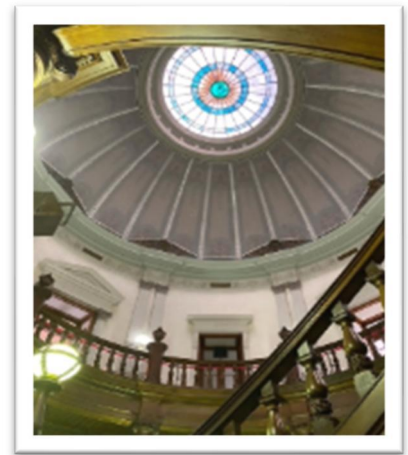
## その1 「蔵書数日本一の公立図書館」と「重要文化財で運営する図書館」

- ・ 府立図書館では、幅広い分野の資料を収集するほか、古典籍や外国語資料など、専門性の高い資料もたくさん所蔵しています。
- ・ カウンターでのレファレンス（調査相談）業務だけではなく、多種多様な資料を集めて整理する収集業務、府内市町村を中心に全国の図書館ネットワークをつなぐ協力業務、子どもや障がい者の読書活動を支援・推進する業務等、幅広い役割を担っています。
- ・ 蔵書数日本一の公立図書館である「中央図書館」と、重要文化財の建物で明治37年の創設以来現在も図書館として運営する「中之島図書館」、どちらも魅力たっぷりです。

### 先輩の声

- ・ レファレンスについては、全国から調査依頼があります。
- ・ 仕事をしながら、幅広い分野を学ぶことができます。
- ・ 経験豊かな先輩職員から OJT で経験を積むことができるので安心です。
- ・ 美術鑑賞やスポーツ経験等、これまでの様々な経験が、レファレンス業務で役立ちました。
- ・ 好奇心旺盛で色々なことに興味がある人には、特にオススメ！

(右) 府立中之島図書館 中央ホール



## その2 府立高校や府内の小中学校への学校支援にも 注力

- ・ 高校生向けの図書館講座付き見学プログラム「LibCo（りぶこ）」では、図書館で調べ物をする際のコツ等を伝えるだけではなく、絵本の読み聞かせレッスンもしています。
- ・ 府内の小・中・高等学校等を対象に休館日に図書館をまるごと開放する「スクールサービスデー」や、中学生を対象とした体験学習・職場体験支援、学校等への図書の貸出しにも積極的に取り組んでいます。





### その3 職場内での研修が 充実

- ・職場内では、館内整理日に先輩職員が若手職員にレファレンス対応のコツを伝授する研修や、外部講師を招いて各種研修を行うなど、採用後も学ぶ機会が充実しています。
- ・そのほか、文部科学省や日本図書館協会等が主催する館外の研修にも参加しやすい環境づくりを行っています。  
(外部研修で学んだことの伝達研修をすることで、職場内にもフィードバック！)

#### 先輩の声

- ・研修制度については入庁してから知りましたが、心強いと感じました。
- ・外部の研修講師をするときも、先輩職員からの手厚いサポートがあり、安心して臨めました。
- ・先輩職員による技能伝達の研修等では、課題が課せられることもあるので大変ですが、**確実に自分の力になっていることが実感**できます！



府立中之島図書館 デジタル情報室

府立中央図書館 地下書庫

教えて！



Q. 府立図書館での司書職の役割は？

A. 府立図書館では、図書館の定型的な業務を外部委託するとともに、施設の維持管理やにぎわい創出にかかるイベント運営、ホールや会議室の利用促進等については、指定管理者制度を活用しています。府の司書職は、図書の選定や購入、市町村や民間団体との連携など、図書館の基幹業務を担っています。

府職員	外部委託業者	指定管理者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料の保存や蓄積</li> <li>・図書の購入及び寄贈図書の選書</li> <li>・府民の調査研究活動の支援（レファレンス）</li> <li>・市町村図書館職員の人材育成や支援</li> <li>・図書館間の物流ネットワークの運営</li> <li>・教育庁や民間団体等との連携事業</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料の貸出・返却</li> <li>・図書資料のデータ入力</li> <li>・利用者登録</li> <li>・複写サービス</li> <li>・書庫出納や書架整理、蔵書点検の実施</li> </ul> <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持補修</li> <li>・ホールや会議室、駐車場の運営、利用促進</li> <li>・にぎわい創出にかかるイベント運営</li> </ul> <p>など</p>

一味違う！

# 大阪府で働く魅力を聞きました

考古学技師職 編

## その1 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を守り、魅力を伝える仕事ができる

- ・「百舌鳥・古市古墳群」は、古墳時代の最盛期にかけて築造された古代日本列島の王たちの墓群で、令和元年7月に登録が決定された『**大阪初**の世界遺産』です。
- ・大阪府は、堺市や羽曳野市、藤井寺市と4者一体となって、世界遺産の構成資産である古墳の保存管理や周辺環境の保全、百舌鳥・古市古墳群の価値理解の促進をめざしたイベントの企画や出版物・動画等の制作に取り組んでいます。



仁徳天皇陵古墳〔堺市〕



白鳥陵古墳〔羽曳野市〕

## その2 大学で学んだ知識・技能等を存分に発揮できる仕事

- ・文化財保護課の業務は、発掘から世界遺産まで多岐にわたります。また、埋蔵文化財のみならず、建造物や美術工芸、民俗文化財など幅広い分野に対応するため、各市町村ごとの歴史や文化の特質などを感じることもできます。
- ・府内市町村の職員や他職種の職員と接する中で、文化財の保存活用に関するヒントが得られることもあり、入庁後も、自身の専門領域に留まることなく知見を広げ、さらなる研鑽を積むことができます。

### 先輩の声

- ・行政の発掘調査は、遺跡を選んで調査するのではなく工事予定地で調査をするので、周辺の調査状況等から概ね何がみつかるのか予想できますが、ときには**思いもよらない大発見**があります。
- ・専門的な研究をするだけでなく、自分の専門知識や調査研究の成果を活かし、世の中をより良いものに変えることができる**やりがいのある仕事**です。
- ・考古学の研究者としても、**ひとまわりもふたまわりも成長できる職場**です。
- ・予算などに制約は多いですが、**アイデアや工夫次第で乗り越えてきた実績とノウハウ**があります。
- ・大阪は歴史の舞台になっている場所も多く、**一級資料（遺構・遺物）**に出会えることが多いです。

## これまでに大阪府内で出土した埴輪等を ちょっとご紹介・・・



### 令和2年 3体の埴輪〔盾持人（たてもちびと）・男子像・力士〕

- ・大阪府羽曳野線建設事業に先立って行っていた陵東遺跡（羽曳野市と藤井寺市の市境）の発掘調査中に、**現役職員が発見！**
- ・いずれも5世紀後半から6世紀初頭のもので、古代に機能していた溝の中から発見されたことから、後世何らかの理由で破壊され捨てられたものと考えられています。



#### 〔まめ解説〕

- ・いずれの埴輪も目や口などがしっかりと表現され、表情豊か。
- ・中でも盾持人埴輪は、発見されている頭部だけでも**60cm**あり、**全体では人と同じくらい大型**のものと推定。
- ・盾持人は、本来は古墳の墳丘上に置かれ、悪霊から古墳内の被葬者を守る役割が与えられたと考えられています。

当時、

**ニュースになった！**



### 昭和60年 仏並遺跡出土土面〔大阪府指定有形文化財：令和2年度に指定〕

- ・仏並遺跡（和泉市仏並町）の発掘調査中に、財団法人大阪府埋蔵文化財協会（現・公益財団法人 大阪府文化財センター）が発見。土製の仮面
- ・遺構内で伴出した遺物の主体時期や土器との製作技術の類似性から、縄文時代後期頃の所産と推測されています。



#### 〔まめ解説〕

- ・カミヤ精霊等を表現したと思われる土製の仮面。
- ・険しい表情の土面が多いとされる中、ほほえんだような表情をしている本資料は貴重で、縄文時代の研究史上においても重要。

**西日本ではじめて  
出土が報告された貴重な資料**

## その3

## 若手職員が活躍できる 活気にあふれた職場

- ・風通しのよい職場環境で、若手職員も多く活躍しています。
- ・大阪府の考古学技師職には女性職員も多く、性別問わず働きやすい職場をめざしています。

#### 先輩の声

- ・若手職員が増えたことで、同年代の仲間が多く、**活気にあふれた職場**です！
- ・専門分野も含め個性豊かな人材が集まっていて、仕事に対する姿勢や職場内での日常会話からも、良い刺激をたくさんもらえます。



## その4 府立博物館の特別展示に、アイデアが採用されるかも？！

- ・文化財保護課が所管する府立博物館は府内に2館あり、考古学技師職が「専門学芸員」として勤務しています。

### (1) “日本唯一の弥生時代の専門博物館” 府立弥生文化博物館

弥生時代は「日本文化の源流」と言われ、当館には全国の弥生時代を代表する資料が保管・展示されていることから、「**弥生時代の教科書**」とも呼ばれています。

弥生時代を代表する集落跡である国史跡「池上曽根遺跡」に隣接し、サイトミュージアムとしても機能しています。



大阪府立弥生文化博物館〔和泉市〕



河内特有の模様の土器も

↑ バックヤードにある収蔵庫の様子



↑ → 興味深い展示物の数々

(上) 中国で出土した銅鏡



(右) 弥生時代の人々の生活を現した模型

### 弥生文化博物館の学芸員のお仕事の様子

- ・弥生文化博物館では、弥生時代専門という館の特色を生かし、特別展・企画展の充実に努めてきました。全国各地の資料の借用を行い、弥生時代研究の最新の成果を分かりやすく紹介しています。
- ・また、小中学生を対象にした社会科見学等にも力を入れています。



#### 先輩の声

- ・これまでは発掘調査中心の業務でしたが、博物館勤務では、特別展・企画展に向けた資料の調査研究・借用やPRまでできます。大変ではありますが、**とてもやりがいのある仕事です！**
- ・禰宜田館長、秋山学芸顧問をはじめとする博物館スタッフの方々と一緒に働くことで、研究者としても大きく成長できるのではないかと思います。

## (2) “日本古代国家の形成過程と国際交流をさぐる” 府立近つ飛鳥博物館

大阪には世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」や「難波宮跡」など古墳時代から飛鳥時代の重要な遺跡が多くあり、当館はその時代の重要な資料を保管・展示しています。

また、当館に隣接し日本を代表する群集墳である国史跡「一須賀古墳群」が「近つ飛鳥風土記の丘」として整備されており、**博物館と史跡を一体的に活用**しています。



実は・・・CM撮影のロケ地になったことも!!

大阪府立近つ飛鳥博物館〔河南町〕

### 近つ飛鳥博物館の学芸員のお仕事の様子

- ・近つ飛鳥博物館では、特に「近つ飛鳥風土記の丘」を積極的に活用した博物館事業に力を入れています。
- ・近つ飛鳥博物館の展示品には、資料的価値の高いものが多く含まれていますので、それらの歴史的情報をさらに引き出し、広く伝えることに注力しています。



図録校正は、納得いくまで議論します

#### 先輩の声

- ・博物館勤務では、特別展・企画展の立案や実施、来館者への展示解説などを行っています。博物館や文化財の魅力を発信できる貴重な職場で、みなさんも一緒に働きませんか？
- ・「研究」が業務の一部として明記されています。もちろん相応の責任は伴いますが、大学で受けた専門的な教育を存分に活かせる、魅力的な職場だと思います！

### 教えて！

Q. 府立博物館で勤務する職員（学芸員）って、どんなことをしているの？



#### 学芸員 三好さんのとある1日

- 9:00 出勤
- 10:00 企画展展示資料の検討
- 12:15 昼休憩
- 13:00 他館への資料貸出対応
- 15:00 企画展の図録原稿作成
- 17:30 企画展のポスター・チラシ校正
- 18:00 退館



A.

府職員は、各館の特性に応じて、考古資料を中心とした、資料の収集や保管、展示及び調査研究といった**学芸業務のコア部分**（専門的判断・技術的作業等）を行い、それ以外の業務を行う指定管理者の学芸員等と連携して施設運営を行っています。

まさに、自分の専門性を活かして、文化財の活用や調査研究等に携わることができるんです！！

企画した展示について調査研究からPRまで携われる!!



## 先輩職員に インタビューしてみました

※所属名は、令和4年4月時点のものです



府立中央図書館 調査相談課  
村田 幸佑  
(R2.4 入庁、副主査)



### “質問力”が 業務を円滑に進めるカギです

日々寄せられる利用者からの質問に対し、その答えが載っている資料を的確に探し出し提供するのが、図書館司書の主な業務。利用者の質問の意図を明確にするためにも、わからないことを周りの仲間に聞くときにも、「質問力」はとても大切です。そういったことが当たり前ができるよう、日々精進中です。

#### この仕事を選んだきっかけ

「本と図書館が好きだから」というのが一番ですが、せっかくなら人の助けになる仕事がしたいなと思ったことも動機の1つ。利用者からお叱りを受けることもあります。司書の仕事は感謝される機会の多い仕事だと思います。

#### この仕事にやりがいを感じた瞬間

探している資料や情報が見つかった時、「ありがとう」と言ってもらえるとやりがいを感じます。もっとたくさんの利用者にもそう言ってもらえるよう仕事に取り組んでいます。

#### 働く「前」と「後」で感じた ギャップ

カウンターでの返却業務と書架整理が業務の中心だと思っていたのですが、当課ではレファレンス対応が中心なのが意外でした。



府立中央図書館 読書支援課  
白石 華菜恵  
(H30.4 入庁、副主査)



### “学びに終わりはない”ことを日々実感しています

図書館司書は「学び続けようとする姿勢」が必要だと思います。たとえば、おはなし会をする際も、わらべうたや手遊び等、様々なことを覚えた分だけできることの幅が広がり、より楽しくできます。ベテランの先輩職員たちも、積極的に研修に通われており、学びに終わりはないと日々感じています。

#### 大阪府立図書館で働こうと思ったきっかけ

「日本の公共図書館で一番本を所蔵している」府立図書館では、難しい調べ事でも、自分の力次第で見つけられるかもしれないと思い、ワクワクしたからです。

#### この仕事にやりがいを感じた瞬間

図書館には「タイトルを忘れた本を探してほしい」と相談に来られる方も多いのですが、人の記憶は曖昧で、見つけるのはなかなか難しいものです。それでも、相手方のお話を丁寧に聞き、同僚と分担して調べ、利用者の方の大切な思い出の本にたどり着けたときは、感無量です。

#### 図書館司書は、こんなこともしているんです

「図書館司書ってカウンターに座っている人でしょ?」とよく言われますが、実はそれだけではありません。必要な本を選んで購入する他、府立図書館では府内の市町村図書館向けに本を貸したり、図書館職員や学校司書を対象に研修をしたりと、図書館運営のサポートもしています。

教えて！



Q. 入庁前にやっておけばよかったことはありますか？

A. (村田) 分野に縛られず、もっと色々な本を読んでおけば、大いに業務にも役立てられたのに…、と思うときがあります。

(白石) 大阪府には、様々な国にルーツがある方が住んでいて、子育て中の方が中国語や韓国語、ベトナム語などの絵本を探しに来られることも多いです。そのため、英語だけではなく、その他の言語も、あいさつや、本のタイトルを読める程度には学んでおけばよかったと思っています。

## 府内の埋蔵文化財を守っているのは、私たちです!!



文化財保護課  
調査事業グループ  
大澤 嶺  
(H31.4 入庁、副主査)



考古学技師職

私の主な業務は、埋蔵文化財の発掘調査と調査報告書の作成です。具体的には、事業者との調整から始まり、発掘調査の監督員として、現場での指揮、掘削、写真撮影、図面作成を行います。調査後は遺物整理や成果をとりまとめた発掘調査報告書を刊行し、開発により破壊される埋蔵文化財の記録保存を行っています。

府内の埋蔵文化財を保存し、府民の方々にいかに還元できるかは、我々の仕事にかかっているとんでも過言ではありません!

### この仕事を選んだきっかけ

専攻していた学問が考古学だったこともあり、知識と経験が活用できる考古学技師職を志すようになりました。

大学1回生の頃、大阪府下の自治体で非常勤職員として発掘調査に携わり、その後も府下の発掘調査を中心に参加する中で、大阪府庁で働きたいと思うようになりました。

### この仕事をするうえで必要だと思うもの

大学での研究はもちろんですが、自身の研究分野以外の知識(特に古墳時代や中世の土器)も幅広くもつことが必要です。また、行政や大学による発掘調査に積極的に参加し、経験を積んでおくことはオススメです。発掘調査に参加したいと思った方は、まずは大学の指導教官に相談してみてくださいね!

### 大阪府はここが違う!

府の文化財保護課には多くの考古学専門職員が所属しており、業務の役割分担がされています。残業は担当業務や季節により多少ありますが、ワーク・ライフ・バランスを実現する仕事環境が比較的整っています。



府民向け 現地説明会の様子[宮園遺跡(堺市)]

## “大阪初”の世界遺産に携わる貴重な経験を 共に



文化財保護課  
保存管理グループ  
飯塚 信幸  
(R2.4 入庁、技師)



考古学技師職

私は、令和元年7月6日に大阪で初めて世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」の管理や魅力発信に関わる仕事に従事しています。考古学技師職の採用は、全国各地の都道府県・市町村で行われていますが、世界遺産に携わることのできる自治体はそれほど多くはないと思います。

### この仕事にやりがいを感じた瞬間

古墳群の魅力伝える講演会などで、受講者の方からご好評の声をいただいたときや、自分が作成した PR ビデオや冊子が形になったとき等に、やりがいを感じます。また、世界遺産は登録後の管理も非常に大切で、ICOMOS や UNESCO とやりとりする際には、緊張感や充実感があります。

### この仕事をするうえで必要だと思うもの

考古学、特に古墳時代に関する知識はもちろん必要ですが、それを一般の方や子どもにもわかりやすくかみくだいて解説できる力が必要だと思います。





文化財保護課  
調査管理グループ  
河原 秋桜  
(R3.4 入庁、技師)



考古学技師職

## “文化財を通じた”大阪府の魅力を日々発信中です!

考古学技師職は、府内の貴重な文化財の掘り起こしや保存活用に取り組むとともに、文化財を通して、大阪府の魅力向上に取り組んでいます。

「埋蔵文化財に関する業務」と一口に言っても、発掘調査をするだけではありません。

私は現在、出土資料の活用や貸出、それらを収納する収蔵庫の整理を主に担当しています。その中で、ミニ展示の企画や解説パネル等の作成、小学校への出前授業等を行いながら、出土資料の紹介や、その魅力を発信しています。

### この仕事にやりがいを感じた瞬間

自分が企画した展示や資料を貸し出した博物館の展示を見た府民の方が、「自分が住んでいるところの近くで、こういうものが出ていたんだ」と、興味関心をもっていただけたとき、やりがいを感じます。

### 府庁に入って良かったこと

埋蔵文化財や考古学に関する技術職の中でも、大阪府は比較的女性職員の数が多く、男女関係なく活躍の機会があります。

教えて!



Q. 入庁前にやっておけばよかったことはありますか？

A. (大澤) 行政の発掘現場でアルバイトをして、発掘調査の進め方などを見ておけばよかったなって思います。

(飯塚) 自分の研究テーマだけではなく、色々な時代の遺跡や遺物の勉強を、広くしておけばよかったなって思います。ほかにも、古墳時代の須恵器や土師器、中世の土器について、変遷や時期がわかる資料を集めておくと、役に立ちますよ。

(河原) 府内の史跡や資料について、改めて現地で確認し、現状や問題点等を考える機会をつくっておくと、仕事でも役立つのではないかなと、思います。



↑ 弥生文化博物館での展示の様子(水差し) ↑

# 採用方法

○1次選考:小論文(1時間)  
専門考査(1時間30分)

○2次選考:個別面接(司書職・考古学技師職)  
口頭試問(司書職のみ)

※令和2年度以降の試験問題は、下記ページに掲載中  
大阪府教育委員会【司書職及び考古学技師職】の採用情報  
<https://www.pref.osaka.lg.jp/kyoikusomu/recruit/>

大阪府教育委員会 採用情報

検索

## 《採用までの流れ》



※スケジュールは見直すことがあります

# 勤務条件

## 1 給与(初任給)

司書職・考古学技師職  
(令和5年4月採用者・4年制大学卒の場合)

**月額 212,700 円程度**(地域手当含む)

※その他、通勤手当、住居手当、時間外勤務手当等あり

## 各職種 年齢構成表(令和5年4月1日時点)

### 司書職

	20代	30代	40代	50代以上	合計
男性	2名	6名	6名	4名	18名
女性	5名	5名	13名	16名	39名

### 考古学技師職

	20代	30代	40代	50代以上	合計
男性	4名	5名	6名	2名	17名
女性	6名	3名	3名	2名	14名

## 2 勤務時間など

### 司書職



### 中之島図書館

- ・1部勤務: 8時45分~17時15分(休憩45分含む)
- ・2部勤務: 11時45分~20時15分(休憩45分含む)
- ※週休日は原則、日曜日と日曜日以外の1日  
年末年始(12月29日~1月3日)は休み

### 中央図書館

- ・1部勤務: 8時45分~17時15分(休憩45分含む)
- ・2部勤務: 10時45分~19時15分(休憩45分含む)
- ※週休日は原則、月曜日と月曜日以外の1日  
年末年始(12月29日~1月3日)は休み

### 教育庁(市町村教育室地域教育振興課 等)

- 原則、平日9時~17時30分(休憩12時15分~13時)
- ※土日祝日、年末年始(12月29日~1月3日)は休み
- ※15~30分程度の時差出勤あり

### 考古学技師職



### 教育庁(文化財保護課 等)

- 原則、平日9時~17時30分(休憩12時15分~13時)
- ※土日祝日、年末年始(12月29日~1月3日)は休み
- ※15~30分程度の時差出勤あり

### 共通

#### [休暇など]

- ・年次休暇  
**20日**(4月1日採用の場合、採用年度は15日)
- ・特別休暇  
夏期休暇5日、産前産後休暇、子の看護休暇5日、介護時間、子育て部分休暇、不妊治療休暇 等

#### [異動ローテーション]

- ・入庁 **2~3年**程度で異動  
その後は、3~5年前後、役職に就くと約3年で異動

## 3 採用実績

選考実施時期	司書職			考古学技師職		
	受験者数	最終合格者数	競争倍率	受験者数	最終合格者数	競争倍率
R2	130名	1名	130.0倍	28名	3名	9.3倍
R3	92名	2名	46.0倍	17名	2名	8.5倍
R4	127名	3名	42.3倍	14名	2名	7.0倍



大阪府教育庁 教育総務企画課 [令和4年7月発行(令和5年7月改訂)]  
〒540-8571 大阪市中央区大手前3丁目2-12 別館5階  
代表電話番号 06-6941-0351